

環境科学院 地球圏科学専攻

修士論文公開発表会プログラム

【第1日目】 平成21年2月12日（木）

- 13:00-13:20 松井 崇人（物質循環・環境変遷学コース）  
「西部北太平洋における窒素固定生物の定量と窒素固定能の評価」
- 13:20-13:40 石川 泰（大気海洋物理学・気候力学コース）  
「太陽活動が成層圏・対流圏結合に及ぼす影響」
- 13:40-14:00 西村 隆（大気海洋物理学・気候力学コース）  
「石狩平野における地表オゾン変動に関する研究」
- 14:00-14:20 上田 哲大（物質循環・環境変遷学コース）  
「水の安定同位体比を用いた東シベリアタイガ林の水循環の研究」

<15分休憩>

- 14:35-14:55 戸井田 武（雪氷・寒冷圏科学コース）  
「アラスカ・ランゲル山雪氷コアの  
酸素・水素同位体比とその古気候学的意味」
- 14:55-15:15 鳥居 和洋（物質循環・環境変遷学コース）  
「沖縄・辺戸岬における水溶性有機エアロゾルの組成と起源」
- 15:15-15:35 嶋田 宇大（大気海洋物理学・気候力学コース）  
「エネルギー収支と渦位から見た日本海 Polar Low の発達メカニズム」
- 15:35-15:55 横野 圭介（物質循環・環境変遷学コース）  
「夏季札幌における大気エアロゾル中の有機炭素、  
黒色炭素及び水溶性有機炭素の日変動」

【第2日目】 平成21年2月13日（金）

- 9:10-9:30 小橋川 豊(大気海洋物理学・気候力学コース)  
「南アジア地域の対流圏・下部成層圏オゾン変動の研究」
- 9:30-9:50 兼成 智久(大気海洋物理学・気候力学コース)  
「冬季西部北太平洋における水温フロントと下層大気との関係」
- 9:50-10:10 高橋 雅博(雪氷・寒冷圏科学コース)  
「降雨を伴った融雪出水の研究」
- 10:10-10:30 多田 圭吾(物質循環・環境変遷学コース)  
「二枚貝化石を用いた最終氷期以降の  
日本海表層水温・酸素同位体比の季節変動復元」

< 10分休憩 >

- 10:40-11:00 久野 友靖(雪氷・寒冷圏科学コース)  
「樹冠による降雪遮断量の評価」
- 11:00-11:20 三上 裕(物質循環・環境変遷学コース)  
「オホーツク海表層堆積物の有機物の起源推定研究」
- 11:20-11:40 長谷川 航(陸圏環境科学コース)  
「北海道南西部の洞窟「北海洞」における洞窟学的研究」
- 11:40-12:00 阪口 絵理奈(陸圏環境科学コース)  
「アラスカ内陸部における森林火災と樹種構成との関係」

< 昼休み 12:00-13:20 >

- 13 : 20 - 13 : 40 岩崎 聡子 (大気海洋物理学・気候力学コース)  
「夏の帯状平均場の予測可能性」
- 13 : 40 - 14 : 00 土門 優介 (大気海洋物理学・気候力学コース)  
「データ同化を利用した熱帯対流圏界層内における  
流跡線高精度化の試み」
- 14 : 00 - 14 : 20 岡 隼人 (物質循環・環境変遷学コース)  
「2006～2009年に利尻島で観測された地表 O<sub>3</sub>と CO<sub>2</sub>の混合比変動」
- 14 : 20 - 14 : 40 山村 育代 (大気海洋物理学・気候力学コース)  
「雨滴の最大粒径の気候学的特徴と出現特性」

< 15 分 休 憩 >

- 14 : 55 - 15 : 15 安井 壯一郎 (大気海洋物理学・気候力学コース)  
「NLBMを用いた北半球大気循環の偏差場形成」
- 15 : 15 - 15 : 35 鈴木 智代 (物質循環・環境変遷学コース)  
「中国三江平原における溶存有機物の蛍光特性」
- 15 : 35 - 15 : 55 山口 隼人 (物質循環・環境変遷学コース)  
「西部北太平洋エアロゾル中の脂質化合物の分布 :  
父島における季節および経年変化」
- 15 : 55 - 16 : 15 比文 啓太 (物質循環・環境変遷学コース)  
「2008年夏季の南大洋における海洋炭酸系の分布と変動」